

市長の脳裏に映し出される本市の ロケーションについて

沼倉 啓介

〔質疑〕市長に就任し、早一年三月実質御自身の理念が強く反映されたであろう当初予算が提案された。

自治体を取り巻く厳しい環境の中で、必要不可欠な要素は明確なビジョンのもと強い指導力を明確に発揮して頂く事が様々な課題克服に結び付くと思われる。

そんな意味から市長の脳裏に写し出されている本市のロケーションがどのように推移と変化の形をとって進むのであるかお尋ねをする必要がある。一端でもお示し頂きたい。

〔答弁〕具体的なビジョンは、まずはこの白石の活気を取り戻したいということが1番の思いである。まずシンボル

である白石城を中心とした「歴史文化ゾーン」を生かした「歩きたくなる白石の実現」を考えている。

市内の7つのお寺、また1つの神社をめぐるコースなど、沢端川を散策しながらのお城、また碧水園、武家屋敷をめぐるコースなど、さらに足を若干伸ばして検断屋敷コース、芝桜敷きのスパコースなど、いろいろな「小さな旅」として企画し誘致を図ることにより、それが中心市街地のにぎわいに結びついてくるのでは

ないかと思っている。

ロケーションは、人口減と財政面においても三位一体改革等があり、財源の確保が厳しい環境になりつつある中で、市民のご理解とご協力をいただきながら、「共汗」「共学」「共生」をキーワードとしたまちづくりが実現すれば人の力が発揮でき、少なくとも今以上に賑わいのある白石を実現していけるものと確信している。

介護保険の効果について

跡部 政敏

〔質疑〕4月に改正される介護保険法は、問題になっているお年寄りの引きこもりと、体力低下の予防に取り組んでいる。持っている体力と、訓練で鍛えた運動機能をどのように維持するかが介護予防の課題だ。地域ごとに体力と筋力を維持するための具体策は

ないのか。自主サークルの育成と支援についてはどうか。介護予防の効果を上げるためには、高齢者による地域ごとの自主サークルづくりが大切である。

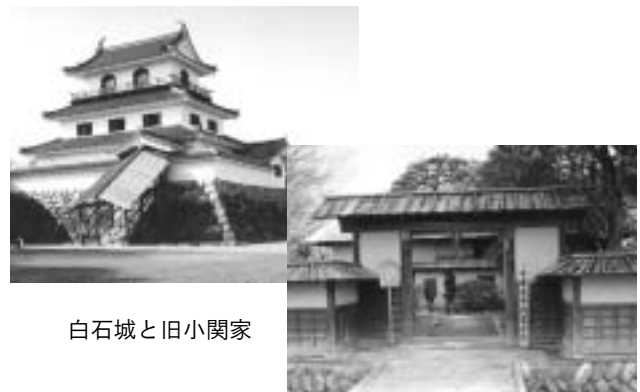
〔答弁〕維持については、運動機能を維持するために、運動を継続して行うことがまず大切であると思う。一番大切なのが、本人の意欲が大きな要素になる。その意欲をサポートすることが行政の役割であると思っている。市では、体力づくり教室の修了者の皆様には、介護予防センターの開放日の積極的な利用と、家庭での日常的な運動の継続を呼びかけている。そして、より効果的に筋力の維持が図られるよう、継続的な保健指導を



介護予防センター

今後とも行っていきたいと考えている。

自主サークルの育成や支援について、介護予防事業の理想の姿として目指すところである。自主サークル活動に対し、指導者の育成、派遣及び保健指導など支援を行って、市民と一体となった介護予防事業を推進していきたい。



白石城と旧小関家